

西多摩医師会報

1986年2月1日

158号

発行所・社団法人 西多摩医師会

編集委員・村山 正昭

荒巻 武彦 石井 好明

小林 杏一 堀田 洋夫

東京都青梅市西分3-103

TEL.(0428)23-2171(代)

栗原 琢磨

渡辺 良友

胃ガン検診事業について

西村 邦康

一昨年からの懸案事項であった福生保健所における胃ガン検診事業は、昨年12月東京都医師会と都衛生局の間に合意が成立し西多摩医師会も12月理事会でこれを追認し、61年度から実施されるはこびとなった。その要綱は別紙の通りですが、当初の検診機器設置による固定方式ではなく、西多摩の地域特性を考慮して稼動式の検診車による検診方式がとられることになりました。

この決定をふまえて胃検診委員会は1月10日幹事会を開催し、事業実施段階での具体的な対応を種々検討、次の決定をみました。

即ち検診事業に積極的に関与し、

- 1) 検診フィルムの読影を行う
- 2) 要精検者の二次検診を地元医療機関で実施する。

この決定を基に、1月18日は都衛生局・都医師会・西多摩医師会の三者の打合せ会が立川で開催されました。

- 1) 本事業及び今までの老健法による胃検診の要精検者の受診通知及び管理は、当該市町村が管理すること、及びこの事項を市町村に周知徹底する。
- 2) 集検フィルムの読影の方法については検ガンセンター医師とまじえ後日詳細を取り決める。

この二項を確認して西多摩医師会・胃検診委員会は本事業に積極的に参加することが決まりました。

1月31日胃検診委員会幹事会を再度開催し、以

上の経過を報告し検診フィルムの読影について討議を行いました。

- 1) 胃検診委員会会員は原則として検診フィルム読影に参加する。場合により病院医師の協力を求める。
- 2) 検ガンセンター医師と共同、或は指導のもとに行う。
- 3) 読影場所は福生保健所で行い、読影日は火・水旺、時間は2～4時頃までとする。

等々要望を次回衛生局との打合せの際述べることとして、決定は西村・大塚の両者に一任することにしました。

2月6日都衛生局 土井課長、検ガンセンター野本部長・長谷川保健所長他と打合せ会を開きました。

検診フィルム読影は、委員会会員の負担も考慮し月1回位が妥当で、検ガンセンター医師とペアで或は見学の形で読影方法を研修したり、という意向を提示しました。

この意向は大筋において諒解されましたが、詳細は、検ガンセンターの事情もあり明確な返答はありませんでした。都衛生局の仲介により解決するものと期待しております。

以上読影等細部については未決定の部分がありますが、胃ガン検診事業は61年度からスタートいたします。

ガン死亡率が死因のトップ(その中41%は胃ガン)、胃ガン=死と恐れられ、市民の関心の高い

胃ガン検診事業に、医師会は、市民の期待を裏切る事のないよう自から研鑽して精度管理等々に万全を期したいものであります。



打合わせ会での西医役員、東京都土井課長、福井都医理事および都関係者

保健所（西多摩地域）における ガン検診の実施上の考え方と実施方法

1. 実施上の考え方

都における胃ガン検診の低受診率状況を脱するため、今後は、施設検診と車検診を相互補完的に作用させ、受診機会の拡大による受診誘発を図っていかねばならない。

多摩地域における胃ガン検診は車検診の割合が高い。(59年度実績で車82%、施設18%であり特に西多摩地域では全て車検診である。因に都全体では、車62%、施設38%である。)今後同地域における胃ガン検診の受診率を高めるためには、車検診に加え施設検診の機会をふやすなどの工夫が必要である。ただ施設検診は、受診者にとって不便なところでは効果が少なく、できれば各地域に点在していることがのぞまれる。

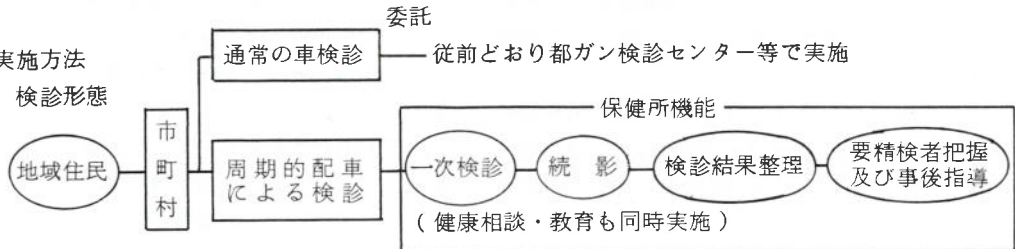
確かに、65年には多摩地区ガン検診センター

が開設され多摩地域における施設検診機能の大幅な強化は見られるものの、その場所的関係から利用しにくい地域も存在し、このような地域にも施設検診の機会提供を考える必要がある。

以上の観点に立ち、西多摩地域の保健所における胃ガン検診は、福生保健所に検診車1台を配置し、同地域の保健所内に周期的に配車して行う方式で実施する。この方式は、“車”を使いながらその運用実態は健康相談・教育を同時実施する等“施設”的であるだけでなく、当初方針（福生保健所で施設検診）に比して複数の保健所で施設検診の機能を発揮させようとするものである。なお、ガン検診センター等で実施する従前の車検診は継続し、これとの併用により広域的な対応やバラエティーに富んだ検診が実施できる。

2. 実施方法

(1) 検診形態



(2) 実施保健所及び検診規模

当面、福生HC、五日市HC、秋川HCSの3所において、1回当たり受診人員40人、

年間6,000人程度実施する。なお、具体的な検診日については、各保健所（相談所）の実情を勘案して設定する。

学術講演会

虚血性心症患者と心電図変化

60. 9. 20

青梅市立総合病院内科部長

坂本保己先生

虚血性心症患者のうち心筋梗塞は早期診断が大切で、58年1月から現在までの当院症例中発症してから2~3時間で入院すれば約20%の死亡率であり、6~8時間を経過すると死亡率は高くなる。しかしそれ以後来院するものは比較的軽症のため死亡率は高くない。これ等81例の心筋梗塞のうち61%は開業医を経て入院しているが死亡率は16%と低く、直接来院したものでは41%と高くなっている。

分類

- 1) 心停止
- 2) 狭心症 — 心筋の乏血状態
- 3) 心筋梗塞 — 心筋の壊死
- 4) 心不全 — ポンプ機能の失調
- 5) 不整脈 — 心筋の電氣的障害

心筋の虚血と狭心症

安静にしているでも冠動脈の狭窄が生ずれば血流が不足して狭心症を起こす(血管痙縮)。また労作時には運動量に対して供給血流が不足すれば狭心症を起こす(血管狭窄)。

冠動脈造影では供給ルートの血流の良否が調べられる。

症例 60才男性、20m歩くと胸痛がおこる。冠動脈造影でArtrio sclerosisが原因と思われる狭窄(75%位)が認められる。これは労作性狭心症でMaster 負荷をシングルかけると直後からST低下が見られる。3分後でも低下しており10分で元に戻っている。

虚血心の心電図の着眼点

- ST低下、上昇。
- T波の平低、逆転、増高、延長(増幅)。
- U波の陰性化。
- QRS、虚血では変らないが、梗塞のQ波。
- P波、虚血心では心不全の左房負荷に注目。
- 不整脈、虚血の反映と考える。
- 伝導障害

症例(急性冠不全例)

変化が急速な症例で、胸痛発作をモニターで見ていると、T波が増高しST上昇を伴い、そのう

ちR波が減高してくる。そして期外収縮が多発して伝導障害も出現。U波が陰性化すると心室性調律となり、冠不全の治療によりしだいに正常調律に戻っていった患者。この場合は心筋梗塞と考えられている。

STの変化

- 接合部(junction)の下降 — J型
- Sagging下降 — S型
- Horizontal下降 — H型

心筋の内側の虚血 — STの下降

心筋の外側の虚血 — STの上昇

貫壁性の虚血 — 顕著なST上昇

冠動脈バイパス例

テニスをするとうるさくなる52才の男性、この労作性狭心症にMaster 負荷をかけST低下を認める。冠動脈造影(CAG)では前下行枝が90%狭窄している。右冠動脈はsegment 2で狭窄、左右両に狭窄しているため手術をおこなった。術後の運動負荷ではST変化が消失した。

異型狭心症

朝になると胸が苦しい。運動時には苦痛がなく、負荷でも変化がない。モニター心電図でST上昇を伴う発作が観察され異型狭心症と診断できた。CAGでは冠動脈の狭窄部、血栓を認めずスバズムが推定される。

陰性T波の意義

虚血がなくても心肥大、左脚ブロックでは陰性T波が出ることもあり、二次性T変化と呼ばれている。左室肥大(LVH)と心筋障害の差を心電図胸部誘導でみる場合、LVHでは陰性T波は通常V5以降であるが、虚血(一次性)による陰性T波はV5以前から認めることが多い。

虚血性T波の増高の証明

狭心症例に左CAGを実施すると、一時的に虚血がおこり、T波の増高が見られる。U波の陰転も見られる。

陰性U波

本来U波はT波と共にaVR以外では上向きである。虚血により陰性U波となる。脚ブロックや心

(4)

肥大ではT陰性化に伴って陰性U波を示すが、狭心症ではT波が上向きで陰性U波をみることが多い。

心筋梗塞ではST上昇時に陰性U波をみることがあり虚血心の異常を確認するのに有用である。

QRS変化

梗塞をおこすと、その部位は電気的な波型が出ないで、その反対側または遠位の遠ざかる電気の波が主となって、下向きの波形=Q波となる。

前壁梗塞でQS波を示す症例では、壊死が拡大するにつれR波が減少し、次いで消失してしまうためQS波となる。梗塞の回復期にはR波が出てきてQ波が浅くなることも多い(qR波、Qr波など)。

不整脈

○狭心症では発作とともに期外収縮、発作性頻拍

など頻脈型不整脈が出やすい。

○心筋梗塞では心拍出量の低下のため洞性頻拍、心房細動などが出現し、心室頻拍例を除細動したら梗塞であったり、房室ブロックをペーシングで正常調律に戻したら下壁梗塞とわかることもある。

○異型狭心症では、心房細動から房室ブロック、アダムス・ストークス発作など虚血に起因する多彩な不整脈を示すことがある。

虚血心の心電図診断に必要なこと

- 1) 胸痛時にEKGを記録する
- 2) 労作性狭心症には必ず運動負荷をかける
(但しST下降の明らかなものは危険であり、必要ない)
- 3) 長時間心電計を利用する

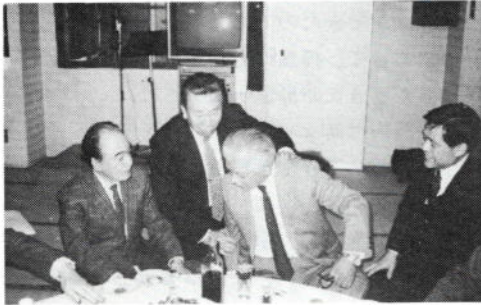
文責 村山 正昭

賀詞交換会風景

61. 1. 18 於 北京

司会 湯川 文朗・野本 正嗣





写 真 の 説 明

恒例の新年会は70余名の参加者があり、例年にもまして盛会でした。

とくに議員、行政担当者とは公式の会合では話しにくい場面もあり、写真のような雰囲気であればむづかしい問題もお互いに理解しやすいというものです。

(村 山)

文芸

パンパン物語 (その1)

司令官のオンリー

青梅市 近藤 肇

「こいつだよ。そうだよね……」と、うしろの方で眺めている女たちに向っていった。

「こいつよ、コーネル……」

その女は、傍らの背の高いアメリカの高級将校に甘えるような目を向けた。

福生にあった、青梅警察署の部長派出所の庭に（現在の埼玉銀行の前あたりで駅から見て右側）オドオドした格好で一列に整列している男たちがいて、少し離れて、女が集って見ている。そこへ、アメリカの高級将校とMPが一人の女を伴ってやってきて、その女が整列している男達の前でいったのである。

「そうだ、間違いなくこの男だ、私を捕えたのは。」

ここで首実験が行なわれているのだった。この首実験で、目指す相手を見つけた女は、そう言うのと誇らしげに、噛んでいたガムをグイと吐きだした。

整列してオドオドしているのは、青梅警察署の保安係の私服の巡査たちであった。

高級将校は鞭を地面に叩きつけて音をパチパチさせながら、女が指をさした男に近づき、

「お前か、この女を逮捕したのは。」

と顔をにらんだ。

女に指をさされた男は、こうなった以上はと、最悪の場合のことを考えていた。

アメリカにかかっては何をされるかわからない。理由も無く基地内の留置所にいつまでも放り込まれたり、中には沖繩へ飛ばされたりした人もいるから。

この首実験の数日前に、大々的なパンパン狩りがあった。40名ほどがトラックに乗せられて青梅警察の留置所に入れられたのである。

当時は、福生、青梅はパンパンが集中していた。200人はいたであろうか。青梅は西多摩の中心都市であり、福生はもともと大した町ではなかったが、基地が出来てからアメリカ兵で賑わう町となっていたから、この2つの町がパンパンたちの集るところとなったのである。

福生に基地ができたのは、戦時中、陸軍の航空審査部というものが出来て飛行場があったため、その跡に進駐したからである。牛浜の駅はそこへ通勤する軍人軍属の為に出来た。なお、昭島駅も、昭和飛行機ができたので昭和前という名で駅ができたのであって、拝島町と昭和町が合併して昭島市となったときに昭島駅と改称された。

当時、警察は時々パンパン狩りをやっていた。トラックに乗せて青梅警察の留置場にされる。そして病気の無い者と、病気のものは治療させたあと、証明書を発行して携帯させ、その名簿は警察から司令部へ提出され、これは実質上の鑑札であった。

警察では保安係の警察官が、ときどき夜に巡回しては何人かを逮捕して、私のところへ連れてきた。

当時の青梅警察署は、今でいえば市民会館の隣の商工会館に位置していて、我が家の近くだった。

私は、そのころ、慶応で研究していたが、父がこういう仕事は嫌がってやらないために止むなく父に代って、夜帰宅してからこの仕事に当たっていた。夜11時ごろ、ときには0時過ぎ、私のところへ10人15人と連れてきた。あとで検診台を警察へ持ち込んでやるようになって、係りの警察官に白衣を着せて助手役をやらせ、喜ばせもした。当時、保安係の警察官だった、青梅市富岡在住の老壮大学をやっている川鍋正良氏、日向和田在住で東京の護国寺の住職の築茂栄順氏は、お蔭で楽しませて貰いましたと当時を振りかえっている。

さて話を戻す。

この首実験の前日、警察へMPがやってきて署長に大声でまくしたてていた。警察には通訳の囑託が2人いて、1人は50才台のアメリカに昔いたことがあるというでっぴりしたジョージというおっさんの移民英語、もう1人は昔女学校で英語の先生をしていたという70才ぐらいの老人、保母さんという人。

その保母さんが、腰の曲った丸い背中で怒るMPの話を取り次いだ。

MPがいきまいて言っていることは、横田基地司令官のバブジン大佐のオンリーが捕ったこと、だから司令官が怒っているという事だったのだ。

エライことになったと署長は心配である。

「明日午後2時に、署長は関係者を福生の部長派出所の庭に集めよ。横に白線を引き、線上にかかとを揃えて一列に並び、直立不動の姿勢で立っている。」

MPは署長に命令をするとジープをとばして帰った。

当日のこと。

福生の、青梅警察の部長派出所の庭で、司令官の前で一同が整列させられて、女の名指しがあったのは書いた通りである。指名を受けたのは保安係長として指揮を執った浜中警部補であった。指名を受けた浜中警部補は勿論、それぞれの面々はどうなるかと片唾を呑んでいると、司令官は、指された浜中警部補の前へ歩み出て「お前か…」

そして、署長に向って、

「この男をクビにせよ。」と命令した。

ややおいで、

「この男をクビにしなかったら、お前がクビだ。」

こう言い捨てて司令官は女を車に乗せて立ち去っていった。

署へ帰って、署長は何とか良い方法はないものかと考えた。

この司令官が着任した時に、日本人から集めて倉庫に保管してある日本刀をこの署長はプレゼントしたことがあって面識があったが、そんなことは通用しそうもないとは、署長も思った。が、とにかく一応、司令官に嘆願することにした。翌日、署長は倉庫から取り出した日本刀をお土産に基地の司令部に浜中警部補を連れて行き、平身低頭懇願した。

「では、しばらく謹慎休職させよ。そのあと、配置を変えろ。」

との御託宣。二人は深々と頭を下げた。

やれやれとの決着となった。

40年後の今日、その時のことを、"あの時は立っていて震えていましたよ"と柔道5段の川鍋氏は思い起して言う。

それはさておき、そのあと、パンパン狩りが依然行なわれていたことには変りない。また、私も、夜の警察での検診をやっていた。

その後、一つの事件に私はまき込まれた。

この	筆	働	働	日	何	節	鶯	「餘寒苦」 小泉新策
跡心	とり	く	け	曜	より	分	の	
形境	か	も	ど	日	も	を	初	
なく	へ	程	恩	朝	寒	寒	音	
記し	り	々	恵	寝	斯	過	に	
に	見	に	ら	な	に	ぎ	佇	
消か	る	て	し	し	は	て	ち	
えな	な	よ	き	つ	耐	て	ま	
んも	り	し	な	ゝ	え	く	く	
霧の	心	働	き	の	ゆ	さ	梅	
と	静	く	世	政	く	さ	林	
	か	を	悲	治	辛	さ	の	
	に	べ	し	座	き	鳴	な	
	を	し	き	談	に	き	り	
			の	き	な	だ		
				く		に		
						な		

診療報酬明細書返戻状況

11月分

返 戻 理 由		医 科 (乙表) 件 数			
		青 梅	福 生	秋 川	西多摩
1	保険者番号、記号○番号、公費負担者番号、市町村番号、受給者番号の不備又は保険者番号と記号の不一致	22	4	7	33
2	旧証の記号○番号	4	0	2	0
3	患者名、生年又は生年月のもれ	3	0	0	0
4	傷病名のもれ	0	2	0	0
5	診療月分、診療開始日、診療実日数、転帰のもれ	5	1	1	4
6	診察料(初診、再診、往診又は時間外等の表示)のもれ	1	2	0	0
7	診療月と診療開始日及び初診料の不一致	11	0	1	7
8	診療実日数と診察回数又は処方回数との不一致	0	3	0	8
9	投薬○注射(薬名、規格単位、用量、回数)の不備	5	0	1	0
10	処置○手術○検査○X線(薬名、回数、内訳)の不備	0	0	0	0
11	入院料の不備	0	0	0	0
12	点数欄記入もれ又は点数算出根拠不明	0	2	1	0
13	契約外(国保、国鉄、公費等)	1	0	0	4
14	症状詳記(診療内容及び方針の説明等付せん参照)	0	0	0	1
15	医療機関(薬局)の申し出によるもの	0	0	0	0
16	その他	0	0	0	1
計		52	14	13	58

理事会報告

1月定例理事会

昭和61年1月22日(水)7:30 P.M. ~

議事録署名人 { 高木 理事
森 理事

I 報告事項

1 都医地区医師会長協議会報告(瀬戸岡会長)

(1) 老人保健法改悪反対全国大会について

1月23日(土)午後2時、砂防会館ホール
西多摩より江本副会長、大塚総務部長参加予定

(2) 東京通信病院の保険医療機関指定について

都医、千代田区医師会、東京通信病院との間に覚書あり。保険医療機関に指定され
そうである。一点単価8円、無審査?

(3) 地区医師会からの報告

保険請求の実態調査について(世田ヶ谷
区医師会)資料回覧

(4) 社会保険旬報の報道について

吉村 仁厚生事務次官の談話

(5) 西多摩医師会瀬戸岡会長より申し入れ事項

- 診療報酬改定の講習会は地区医師会の準備の都合に合わせてほしい

- 点数アップは2.3%、薬価切り下げ総医療費になおすと1.6%ダウン、差し引き0.7%

(6) 三多摩会長会について

- 1月31日の四者協報告

- 妊婦検診実施要項改定、同委託料の改定について

- 三者協61年度医師会関連事業、公衆衛生関係委託料等について

- 61年度災害医療救護実費弁償について

- B型肝炎母子間感染予防対策について

- 母子保健法関連事業自治体移管批判について

2 胃集検委員会幹事報告 (西村副会長)

- 西多摩地区は検診車による移動方式
- 胃集検委員会が運営
- 読影方法は都衛生局と協議の上決定
- 要精密者管理は市町村
- 要精検者の検査は西多摩地区の医療機関で

3 保健所における胃検診機能付置についての事前打合せ会報告 (西村副会長)

- 1月18日立川平安閣で行なわれた
- 読影は都がん検診センター(読影料支収済)
- 要精検者は市町村で把握
- 1回40人、年間6,000人程度
- 具体的な日程は各保健所、相談所で設定

4 読売新聞社との話し合いについて

(植田 理事)

- 読売新聞記事「白衣の群像」について立川支局局長及び記者2名と話し合った
1月9日、西多摩地域医療計画、災害時医療救護計画について説明(医師会より大塚、植田、堀田出席)

5 各部報告

- 総務部(大塚)2月、3月の日程について

- 経理部(中村)医師会収益事業に関する青梅税務署の調査について
- 広報部(堀田)都医調査委員会報告
- 学術部(塩沢)学術講演会「花粉症」について勉強会の予定について
- 福祉部(植田)新年賀詞交換会報告
- 公衆衛生部(松原)注射針の廃棄方法について
- 学校医部(東)学校保健連絡協議会について
- 産業医部(高木)アンケート調査、産業医名簿更新、三者協議会について
- その他 古屋事務長父君の逝去について 東青梅病院生保患者指導調査について

II 協議事項

1. 2月、3月の日程について (大塚)
2. 生涯教育委員会設立について (塩沢)
3. 羽村町平日準夜診療について
羽村町医師会が行なうこと 「了解」
4. 学校保健連絡協議会会長選出について(東)
協議会会則により委員の中から選出

— 以上 —

医師会日誌

医療機関数	153	病院	24
		診療所	129
会員数	264	A会員	139
		B "	125

会議

2月10日	理事協議会
14日	経理部会
18日	西多摩学校保健連絡協議会
24日	会報委員会
"	総務会
26日	理事会

講演会・その他

2月8日 整備会

18日 法律相談

13日 学術講演会

23日 囲碁会

25日 学術講演会

役員出張

2月5日 都医医事紛争処理委員会

7日 都医議事運営委員会

14日 都医会第183回代議員会

" 日医会代議員会

19日 都医経理部連絡会

" 都医調査研究発表会

21日 都医地区医師会長会

" 三多摩 "

27日 都医学校医部連絡会

会員通知

- 学術講演会開催
- 東京都リハビリテーション医師研修会の実施について
- 社会保険事務所の新設に伴う健康保険被保険者名簿の取扱いについて
- チガソン(一般エトレチャート)の薬価基準収載について
- 薬価基準の一部改正等について
- 国民健康保険組合被保険者証の更新に伴う記号番号の変更について
- 成人病検診従事者指導講習会の開催について
- 国民健康保険組合被保険者証の更新について
- 「東京都医師会学術講演会」の開催について
- 青梅市立総合病院2月分宿日直表
- 学術勉強会開催案内

あ と が き

「生涯教育の制度化」という日本医師会をはじめ、
 って以来の試みが会員に提示され、その意図する
 ところが様々に論議されている。

これからの開業医は若年医師から高令医師まで、
 どのような診療形態をとるにしろ、その時代要請
 に応じた医療サービスを提供しなければならない。
 しかもその要求がしだいに過大になり一次医療の
 守備範囲と達成目標がどこにあるのか見当もつか
 なくなりつつある。

医師の平均年齢が高令化している現状では、画

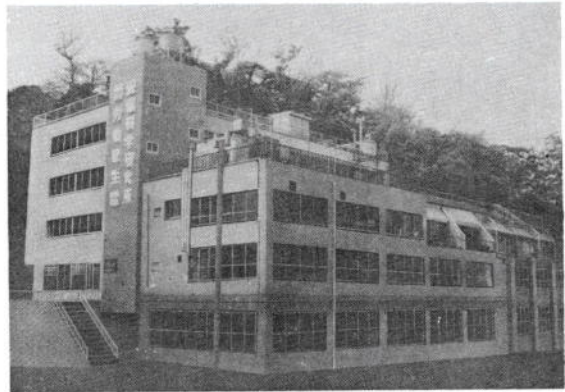
一的な制度化は無意味であり、全員で参加すると
 しても個人の主体性、地域特性を尊重しすぎるとは
 目標達成はおぼつかない。

具体的方策は医師個人が模索すべきではあるが、
 ひとつの方法として、世代層あるいは医療形態別
 にした教育のためのガイド・ラインが必要となる
 のではないか。

これについて西多摩医師会においても当面の最
 重要課題として取り組む必要があり、会員各位の
 意見を会報にのせていきたいと考えます。(村山)

臨床検査センターの雄 保健科学研究所

横浜市保土ヶ谷区神戸町106
 電話 045 (333) 1661 (大代表)
 八王子市子安町3-17
 電話 0426 (26) 2203・2204



- 総合臨床検査センターとして20余年間地域医療に貢献し、絶大な信頼を頂いています。
- 完全オンラインシステム化を実現致しました。(データ通信システム)
- 関係医療機関 約 3,500ヶ所
- 広範囲な検査内容
 - 内分泌学検査 ● 免疫学検査 ● ウイルス検査 ● 生化学検査 ● 血清学検査 ● 血液学検査
 - 病理組織検査 ● 細胞診検査 ● 重金属検査 ● 水質検査

1 都11県の御得意先を毎日定期的集配致します。御一報を御待ち致しています。